

オープンイノベーション推進事業 対象事業

ア 持続可能な地域づくりに向けた地域活動のデジタル化

(自治会負担軽減・情報伝達効率化・担い手不足解消)

自治会長・町内会長などが利用する、チャット機能・ビデオ通話機能・スケジュール・ファイル共有などの機能を持つグループウェアの提供等により自治会活動の負担を軽減したい。

イ 見守りロボットを活用し、住みなれた地域で安心して暮らせるようにしたい

独居高齢者向けに見守り機能などを有するロボットの提供。市からの防災情報の伝達手段としても使用したい。

ウ 2023 大河ドラマ「どうする家康」を契機とした市内観光需要喚起

IoT 機器等を生かした観光施策により、大河ドラマを契機とした市内の観光地周遊促進をはかりたい。

エ 耕作放棄地や農地の草刈り作業の負担軽減 ～より効率的な農業経営・農地管理を行うために～

生産の現場では、人手不足・高齢化により草刈り作業が農業者の負担になっている。また、耕作放棄地の雑草繁茂が問題となっており、非農家で農地の管理ができない人が増加している。上記の問題を解決したい。

オ 学区の危険箇所管理を電子化し、様々な情報を一元管理したい

現在、教育委員会では市内の各学校の学区内危険箇所の管理を紙ベースで行っており、非効率である。必要な情報を GIS や地図上等で電子的に管理することで、業務効率化に加え、情報の的確な把握、蓄積、関係者間での確実な共有（教育委員会、各学校、警察、道路管理者など）が可能となる。

カ 時間外にある市民からの電話問い合わせにおける「後日折り返し対応」を減らしたい

時間外における市民からの電話での各種問い合わせに、AI 等を用いた音声によるサービスで対応したい。

キ 自転車の出会い頭事故を無くすために！自転車が一時停止したくなる仕組み募集

交差点での事故防止のため、自転車の確実な一旦停止を促したい。

ク 水防活動時の防災気象情報等の一元管理

水防活動時に注視する防災気象情報が多岐に渡り、水防従事者がその情報を扱えきれない状態になっている。そのため、各種データ（特にインターネット情報）を 1 箇所の窓（ウィンドウ）で扱えるシステムにより、誰もが水防活動に従事できる体制を構築したい。加えて、報告書の作成についても、自動化したい。